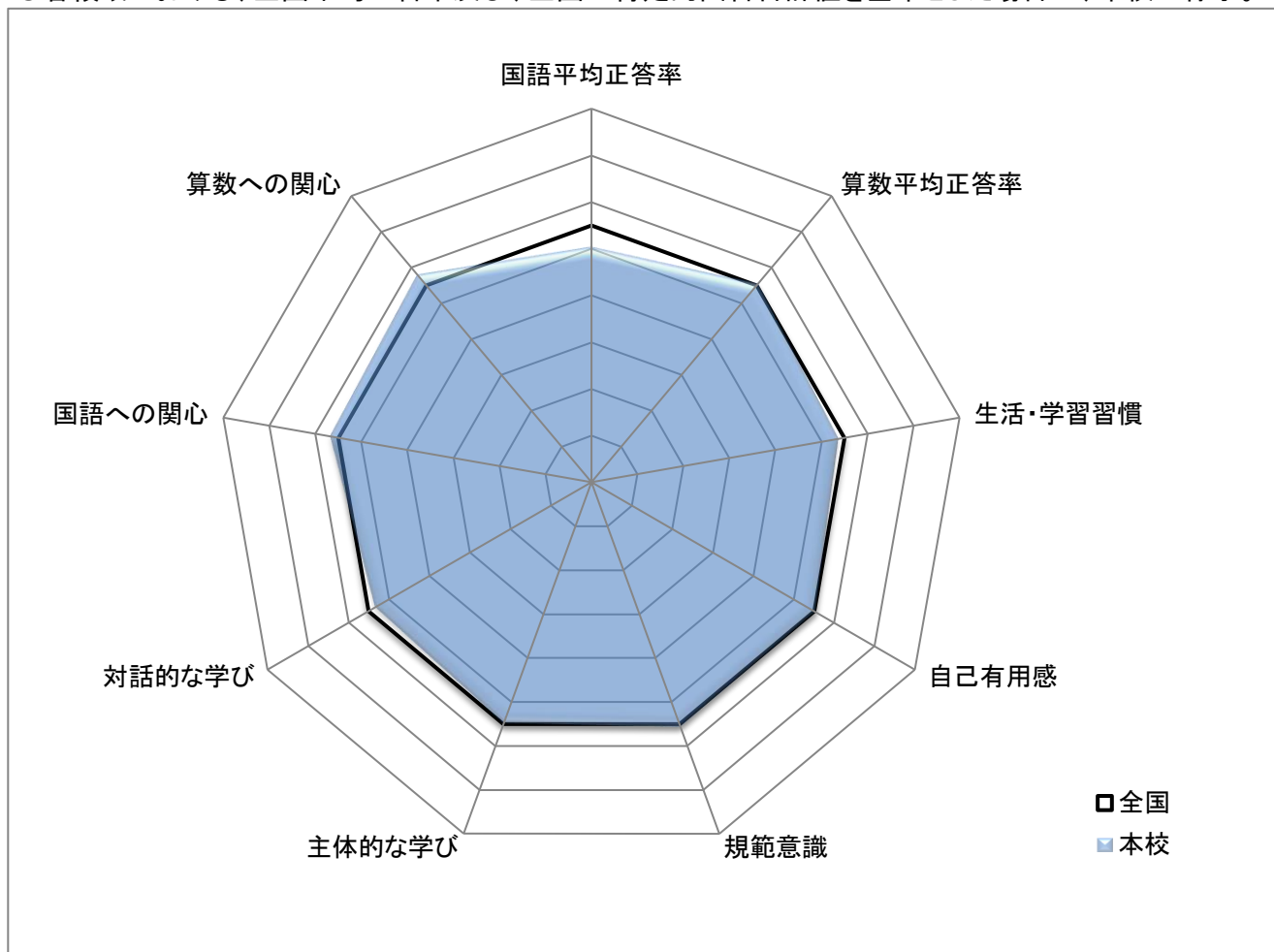


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

○生活リズムが少しずつ整ってきており、生活習慣の確立に向けて今後も継続した取組が必要である。  
 ○都や国と比較すると、夢や目標をもつことや、人の役に立つことに関する項目で、肯定的な回答の割合が高い。  
 ○また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の項目で、肯定的な回答の割合が高い。  
 ●一方で、都や国と比較すると、「自分にはよいところがありますか」の項目で、肯定的な回答の割合が低い。

《授業改善のポイント》

☆生活リズムの向上に向けた啓発を続け、基本的な生活習慣の確立に努めることで、学力向上につなげていく。  
 ☆学習への関心は高いので、授業に人との関わりをもつ活動や場面を意図的に取り入れていくことで役割意識を育て、自己肯定感の向上を図る。  
 ☆対話的な学びを充実させ、児童が相手の考えを大切に受け入れる心情をもてるようにするとともに、自分の考えを表現していけるようにする。

<国語>  
 ☆文章から必要な部分を引用したり図表やグラフ等を用いたりする学習を積極的に取り入れ、自分の考えを分かりやすく伝える書き表し方の指導を徹底する。  
 ☆必要な情報の収集や友達の考えを聞く学習を取り入れ、自分の考えを上げたり、まとめたりする力を育てる。

<算数>  
 ☆数量の関係に着目し、計算の意味や仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりできるように、授業改善を図る。  
 ☆データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、円グラフや帯グラフの特徴や使い方が理解できる授業を展開する。

《チャートの特徴》

○全国値と比較すると、算数・国語ともに学習への関心の高さが上回っている。  
 ・規範意識や自己有用感については、全国値とほぼ同数値である。  
 ・主体的な学びについても、全国値とほぼ同数値である。  
 ●対話的な学びについては、全国値をやや下回っている。  
 ●生活・学習習慣についても、全国値を下回る結果となっている。  
 ●算数の正答数の平均は全国値を上回っているが、国語の正答数の平均は全国値を1問程度下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

☆生活リズムを整えることについて、引き続き家庭での協力を保護者会や学年便り等で呼び掛け、学力の向上へとつなげる。  
 ☆宿題等学校から出される課題にしっかりと取り組むように、家庭での学習時間の確保と言葉掛けをお願いします。